

九州のお茶

うれしの茶（嬉野茶）

・茶葉の形状が勾玉状に丸い玉緑茶（グリ茶）を中心とし、強い香りとまろやかなコクが特徴。

八女茶

・玉露の産地で有名。あまくてコクがあり旨みの強さが特徴。
・八女伝統本玉露は、昔ながらの稲わらを使用して被覆を行う。

大分茶

・主な産地は、中津市、佐伯市、臼杵市、豊後大野市などで、煎茶「きつき茶」「耶馬溪茶」「豊後大野茶」、蒸し製玉緑茶「吉四六茶」、釜炒り製玉緑茶「因尾茶」がある。

そのぎ茶

・上質な蒸し製玉緑茶で、ふくよかな味と香りが自慢。

佐賀県

853t



福岡県

1,650t



長崎県

588t



熊本県

1,200t

くまもと茶

・煎茶、蒸し製玉緑茶及び釜炒り茶を主に生産。球磨地方が県内最大の茶産地で、上益城地方では無農薬栽培や有機茶栽培も行われている。



宮崎県

2,640t



鹿児島県

27,000t

かごしま茶

・荒茶生産量全国一。
・温暖な気候を生かし、他産地に先駆けて新茶を生産
・機械化や多種多様な品種の栽培により、一番茶～秋冬番茶まで幅広く生産。

みやざき茶

・平坦地域は普通蒸しや深蒸しの煎茶、中山間地域は釜炒り茶に加え烏龍茶、和紅茶等地域の特色を活かした多種多様な茶を生産。
・西北山間地は全国一の釜炒り茶の産地として知られている。



《荒茶生産量》



…10,000t



… 1,000t

※各県の数量は荒茶生産量

出典：農林水産省「作物統計」（令和6年度）

全国茶生産団体連合会HP「令和6年度茶種別生産実績」